

平成31年4月26日
東急不動産株式会社
日本風力開発株式会社

リエネ松前風力発電所の運転開始について ～北海道初の蓄電池併設型風力発電所～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大隈 郁仁、以下「東急不動産」）と日本風力開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：塚脇 正幸、以下「日本風力開発」）は、北海道松前郡松前町において開発を進めていたリエネ松前風力発電所が2019年4月3日に運転を開始しましたのでお知らせします。



1. 本発電所の特長

①北海道初の蓄電池併設型風力発電所

本発電所は蓄電池併設型風力発電所として運転を開始しました。北海道電力の「風力発電設備の出力変動緩和対策に関する技術要件」を満たす風力発電所として、初めて運転を開始した風力発電所となります。本発電所は、蓄電池システムを利用することで、風による発電の出力変動を吸収し、安定した電力供給を可能としています。

②日本最大の風車

本発電所はシーメンス・ガメサ・リニューアブルエナジー社製の風車（定格出力3,400kW）12基を採用し、一般家庭約30,000世帯分（※）の年間消費電力に相当する10,590万kWh/年の発電量を想定しています。タワーの高さは94m、ブレードを含めた全高は148mとなり、2019年4月時点で運転している風車としては日本最大となります。

※1世帯あたり3,530kWh/年で算出

2. 発電所の概要

名称	リエネ松前風力発電所
場所	北海道松前郡松前町
発電容量	40,800kW (3,400kW×12基)
風車発電機	SIEMENS Gamesa RENEWABLE ENERGY 社製 (シーメンス・ガメサ・リニューアブル・エナジー社製)
蓄電池容量	18,000kW (日本ガイシ株式会社製)
風車の概要	タワー高さ 94m ブレード長 53m



3. 再生可能エネルギーに関する各社の取り組み

■東急不動産株式会社

東急不動産は、総合不動産ディベロッパーとして、多岐に亘る開発事業を推進してきました。再生可能エネルギー事業においては地域の発展と電力の安定供給に貢献するべく、全国6か所の風力発電事業、36か所(※)の大規模太陽光発電事、1か所のバイオマス発電事業などに取り組んでいます。

※2019年3月時点

■日本風力開発株式会社

日本風力開発は、本年7月に創業20周年を迎えつつあり、風力発電業界のパイオニアとして風力発電オペレーターとしての豊富な経験や20以上の風力発電所新規開発の実績を有しており、高い技術力と競争優位性を持っています。国内における風力発電の一層の普及・拡大に向けて新規風力発電開発案件への取り組みを更に推進させていきます。

以上